

【条件】

宿泊スペース(12畳)(8畳)

- ・元々、普通の部屋だったところを宿泊スペースに
- ・既存の家具(本棚)は残す
- ・最大1組5名の宿泊者

ギャラリー受付

- ・立って記帳する高さに台が欲しい
- ・カウンター正面に個展のポスターなどを提示できるといい
- ・封筒を細かく分けて収納できる可動棚
- ・文房具をしまえる引き出し

脱衣室

- ・洗面台は廊下にあるため無し
- ・洗濯機はコインランドリー

カフェカウンター

- ・ケーキ、飲み物を販売予定
- ・ポット、お皿、コップ類、カトラリー
- ・独立冷蔵庫
- ・蛇口付きのシンク必要
- ・支払いは各テーブルで行う

NO. 1 宿泊スペース (12畳)



窓



畳スペースは100mm、ベッド周りは200mm上げ、段差による空間分けをした。また畳スペースとの間に格子の仕切りを設け空間に違いをもたらすことで、宿泊者がいないときは、カフェとして畳スペースを活用することができる。天井は壊し、梁剥き出しの開放感ある宿泊スペースにした。隣の部屋とは壁を屋根の高さまで上げ完全に分けることで、プライベートをしっかりと守る。



家具も暗めの木材を使用し落ち着いた空間にする。

↑ 使用している木材や壁紙が全体的に暗くしているため、派手な絵画や植栽を置くことで部屋のアクセントとなり華やかさをを持たせる

窓側にゆっくりと過ごせるような、畳空間を設け、庭を見下ろしながら会話を楽しむことができる。また、畳の空間だけ天井を低くする事で、心が落ち着きくつろぎやすい空間作りを目指した。このスペースに高津邸にあった本棚を配置し、照明は和紙を使用した和風のデザインにする。



NO. 2 宿泊スペース (8畳)



窓



8畳も12畳同様、天井を壊し梁を見せる。布団のところだけ床を450mm(椅子と同じくらいの高さ)あげる事で、座ってくつろぐ、寝る、机で作業するなど様々な動作に対応することができる。また、日本らしさを残すため畳を敷き和モダンな雰囲気を作り上げる。

- ・窓上の格子は右側は収納、左側はエアコン隠しになっている。白いエアコンを格子で隠すことによって、落ち着いた雰囲気邪魔しないようにした。

- ・窓側に長い机を置き、庭を見ながらくつろぐことができる。

- ・植栽と椅子の赤色が空間のアクセントとなっている。



12畳と8畳の扉は可能なら、左の写真のようにスタンドガラスをはめ込みたい。

廊下が暗く寂しい印象を持ったため、色の付いたスタンドガラスをはめ込む事で、廊下に色をつけ少しでも明るくしたい。



NO. 3 ギャラリー受付



表にロゴをデザイン



正面にはマグネット壁紙を貼り、ポスター等を自由に貼り剥がしができるようにしている。また、高さを1000mmにし、お客様が立った状態で記帳することができる。



1. 引き出すと机が出てきて、作業台として使用できる。
2. 仕切りがありサイズによって紙袋を収納できる。
3. 梱包に使用するプチプチは丸めて収納する。

NO. 4 脱衣室



洗面台はすでに廊下にあるため、作業台を設けた。下の棚には、タオルやワイヤーバスケットを置き、中に着替えやドライヤーなどを入れる。



ゴミ箱や、タオルなど最小限のもののみ

NO. 5 カフェカウンター



カウンターやシンク下に、ポットや食器類を収納する。全体的に木材と黒で統一させた。シンクの奥には水切りできるスペースを作った。



一郎工房さんで作ったキーホルダーで席札を作れたらと考えている。

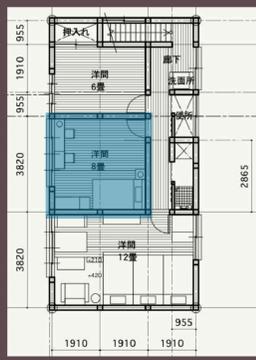
カウンター上にメニューを記載する。黒板のようにになっているため、書き換え可能。

高津様邸 プレゼンボード —STAY NOVA Project—

①宿泊機能 (8畳)



- ・1名宿泊できる部屋 (12畳と合わせて1組4名利用可能)
- ・窓側にカウンタースペースを設け、宿泊機能以外にもカフェスペースとして空間を利用できるようにしている
- ・カウンタースペースは窓のサッシに合わせて作られているため景色を一望でき、広々と使える
- ・天井を無くして梁を見せることで開放的な空間にしている
- ・8畳と12畳の境は間仕切り壁で仕切っている
- ・緑を基調とした部屋で庭との調和を目的としている



2階平面図



現在の写真



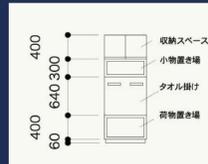
庭を一望できるカウンター



②宿泊機能 (12畳)



③脱衣室



- ・幅の芯々が955mmと狭いため収納棚を最低限のスペースで置き、シンプルに仕上げた
- ・壁紙は各部屋でも意識して取り入れていた緑を基調としていて床の木材と棚の木材を引き立てるデザインになっている



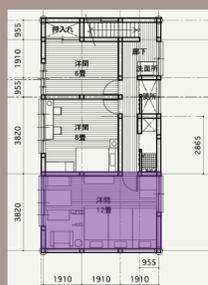
2階平面図



現在の写真



平面図



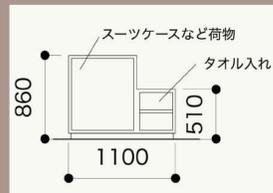
2階平面図



現在の写真

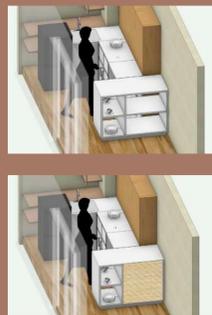


階段状になった造作家具



- ・最大3名宿泊可能
- ・8畳とともに宿泊以外にもカフェスペースとして利用可能
- ・椅子とベッドがフローリングから420mm上がっている
- ・既存の本棚を利用している
- ・部屋に入った瞬間、座りたくなるよう机の足を斜めにカットしている
- ・8畳と同じく天井をとって梁を見せ、開放的な空間にしている
- ・階段になった造作家具で収納機能と窓の開閉の際に乗り降りできる

④カフェカウンター



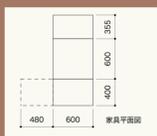
- ・コの字型にすることで収納スペースを最大限にとった
- ・廊下側カウンターの上に小さなメニュー表を置く
- ・廊下側カウンターは廊下側だけではなく作業側からも物を取り出すことができる
- ・それぞれ独立したボックス型になっていて解体する際にスペースを取らず便利
- ・作業エリア側の600mmの棚は可動式で高さが調整できる
- ・廊下側カウンターの690mmは使用していない際に簾で収納物を隠すことができる



⑤受付カウンター



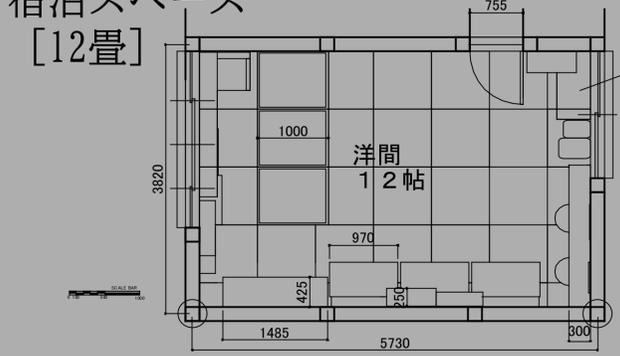
- ・立って記帳できるスペースと座って記帳できるスペースがある
- ・700mmの可動棚を引くと作業スペースが増え、商品の包装などができる。また、その下には収納スペースとして引き出しを設けている
- ・表にはA3サイズの個展のポスターを掲示できる
- ・記帳棚の下にスペースがあり、720mmと高さを揃えているため机の上のものを横に隠して収納することができる
- ・作業する側から左の720mmの棚は封筒を収納する家具



宿泊スペース [12畳]

周辺地図やおすすめスポットを書きだしたポスターを設置する

畳の椅子に座ることもでき、背もたれにして床に座ることもできる



3名宿泊可能(最大4名)

- ・床全てを畳とし、どこでもくつろげる空間とした。
- ・布団は就寝時以外は畳んで収納し、マットレスを畳んでソファとして使えるようにした。【CG1,2】
- ・窓側は天井を高さ2200mmと下げ、囲まれて落ち着く空間にし、外を眺めてゆっくりできるようにした。【CG3】



外を眺めるときは開けて眺めることができ、普段は閉めることで部屋の雰囲気と合わせた。

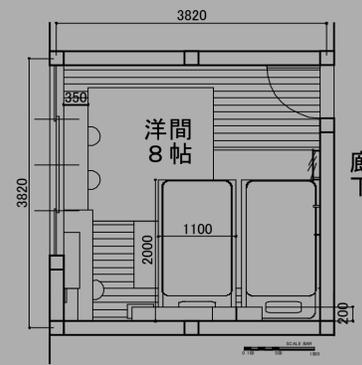
W2460、D1000のため畳の椅子で寝ることも可能

宿泊スペースはどちらもプロジェクターを設置し壁に映してみるができる。



12畳と8畳の間は壁の上部にルーバーを設置し、空間を繋げた。

中庭をより高い視点から見るために右側の椅子とカウンターの高さを上げた。



宿泊スペース [8畳]

2名宿泊可能

- ・ローベッドで開放感のある広々とした空間にした。【CG4】
- ・窓側のカウンターで外を眺める、お化粧品やPC作業等ができるようにした。【CG5,6】
- ・ライトは和紙で作られた大きい円形のを低い所に吊り下げ、暖色の優しい光で全体を明るくする。

〔場所〕
福岡県田川郡福智町金田 高津様邸

〔改装場所〕
二階：12畳、8畳、脱衣所
一階：カフェスペース、ギャラリーの受付カウンター

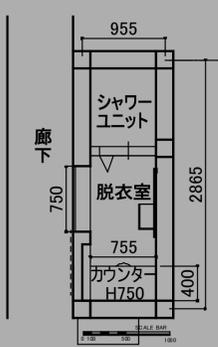
〔背景〕
高津様邸の二階を人が泊まれるように宿泊機能を持たせ、一階にカフェスペース、ギャラリーの受付カウンターをつくりたいと依頼がありプロジェクトが始まった。

〔課題〕
二階：最大5名宿泊できるスペースにするお庭を見てほしいため、窓側をうまく活用する事。
既存の本棚をうまく活用する事。
一階：カフェスペースは使わなくなったらすぐに元に戻せるような提案とする。
ギャラリーの受付カウンターは梱包のための作業台や袋の収納スペースが欲しい。

STAY NOVA project

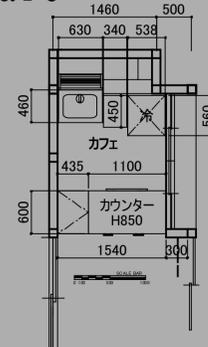
家具空間デザインスタジオ
井島 瑛姫

脱衣室



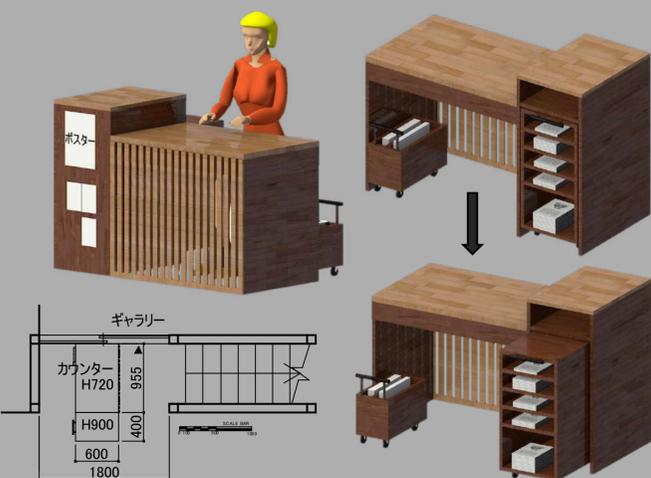
- ・廊下の収納を脱衣室に改修。
- ・右側の壁に埋め込み型の収納棚をつけスペースを広く確保する。
- ・タオルパイプは壁からの距離が上が80mm、下が100mmとして衣類やS字フックで物もかけられるようにした。
- ・下のタオルパイプに籠を設置し、洋服等を入れられるようにした。

cafe



シンクの奥にはお皿を乾かすスペース。シンク横のワゴンもドリンクのティーバッグなどを収納する。

カウンター下のワゴンはキャスター付きで可動式のため、作業スペースが欲しいときなど適宜動かして使えるようにした。



右のワゴンは動かして作業台として使え、普段は大きさや種類別に分けた袋を収納する。左のワゴンも座った状態で上から袋や荷物を取れるようにした。

- ・座った状態で右側にあるワゴンはキャスターをつけて動かしながらスペースを有効活用できるようにした。
- ・表の部分は板に磁石が付くようにしてポスターを掲示できる。

ギャラリーの受付カウンター



- ・廊下からでもカフェと分かるように廊下向きの看板を設置した。
- ・カウンターの上にメニューを吊るす。
- ・元の状態に戻せるように置き家具を中心に考えた。
- ・限られた空間の中で可能な限り収納ができる場所を設置した。





STAY NOVA PROJECT

~高津邸 Re Design 計画~

上部 2枚 12畳 下部 2枚 8畳

家具空間デザインスタジオ
田中桔平

計画の背景

来場者が作品を楽しみ、心地よく滞在できる
宿泊空間の整備が必要

現状の課題

宿泊機能の不足 / カフェ・脱衣所の狭さ
木造住宅の魅力が十分に活かされていない

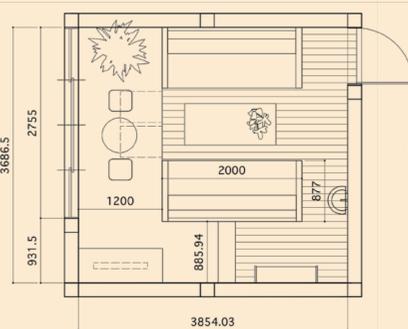
提案内容

- 最大5人対応の宿泊空間
- 和の落ち着きとナチュラルモダンな内装
- 脱衣所/シャワー室
- おもてなしの場となるカフェ空間
- 封筒収納・作業性に配慮した受付カウンター

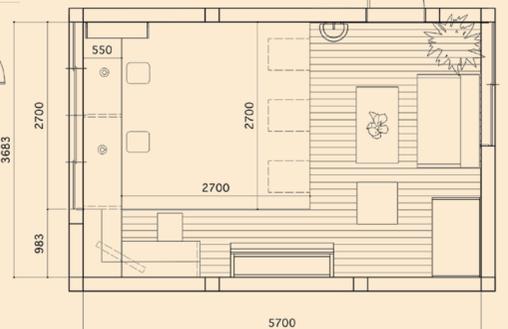
課題解決

スペースの使い方→動線の確保
 ・ 吊り下げ式 シーリングシェルフ
 ・ 折りたたみ式カウンター
 机下に椅子や脱衣かごを収納
 2Fの屋根裏の梁を見せる
 宿泊室の掃き出し窓を活かした空間作り

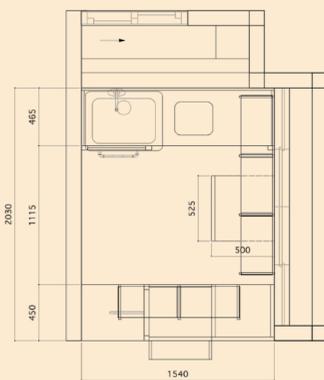
8畳 平面図 S=1/35



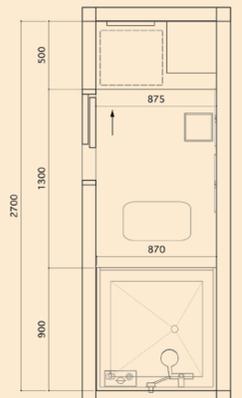
12畳 平面図 S=1/35



カフェ 平面図 S=1/15



脱衣所 平面図 S=1/15



受付カウンター



封筒を分けて収納でき、
可能棚で作業可能



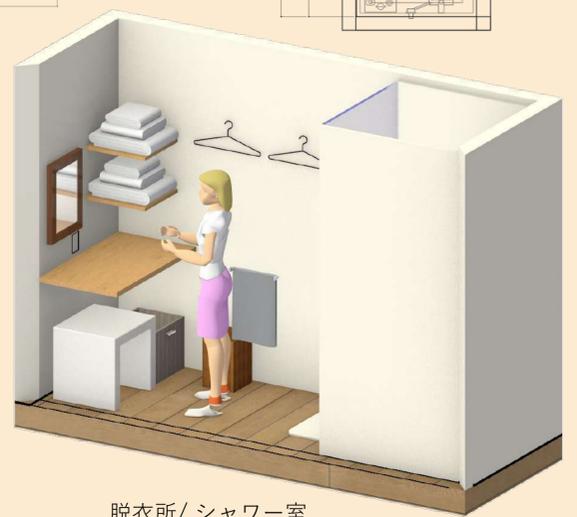
折りたたみ式カウンター



吊り下げ式 シーリングシェルフ



カフェ



脱衣所/ シャワー室

Stay Nova Project

九州産業大学
建築都市工学部住居・インテリア学科
家具空間デザインスタジオ
木野 梨沙

概要

福岡県田川郡福智町に在住のアーティスト高津利依さんの自宅（木造2階建て）に宿泊機能やカフェの付加、ギャラリーカウンターの設置に向けた空間デザインの企画・提案

1F：高津さんプライベートスペース
ギャラリー（Gallie+）
+カフェ・ギャラリーカウンター

2F：+12畳・8畳客室
収納⇒シャワー・脱衣室

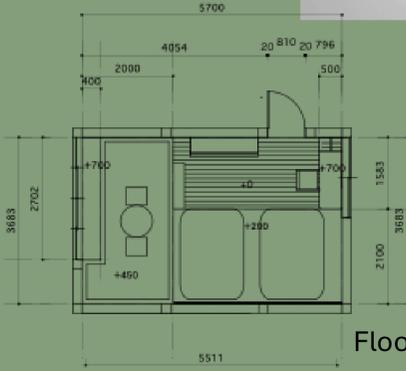
所在地

福岡県田川郡福智町

福智町は、福岡県の中中部から北東よりに位置し、直方市・北九州市・香春町・田川市・糸田町・飯塚市と隣接しています。
人口：約2万1千人
面積：42.06平方キロメートル。



12 room



Floor Plan



中庭を見ながら
1Fのカフェで購入した
飲み物を2Fで楽しめる

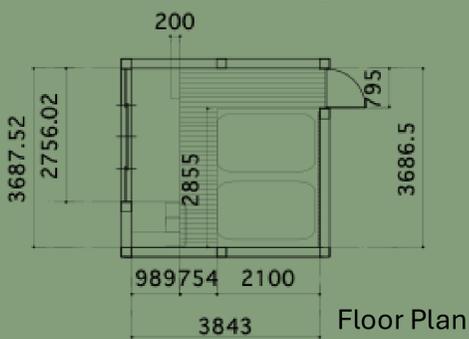


可動棚
自由な壁面収納



デスク
身支度やPC作業等
を行うことができる

8 room



Floor Plan



キャリーケースの収納も可能

中庭を見ながら
寝転ぶ・読書が可能



デスク
PC作業等をしたり
身支度をしたり
できる



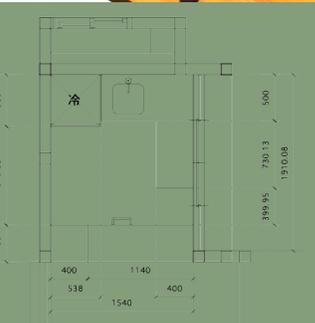
Cafe



オープン収納で
物を見つけやすい



吊り棚で収納力アップ



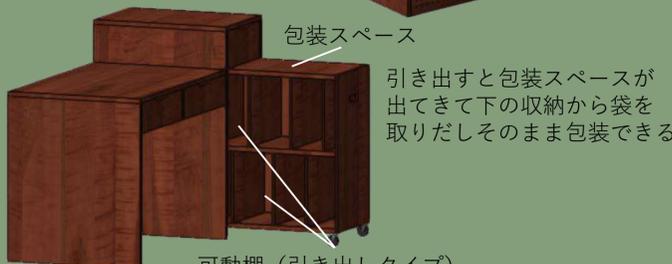
玄関から入ってきて
カフェがあることを示すサイン

Floor Plan

Gallery Counter



パンチングボード
棚板をつけたり
フックをかけたり
ポスターをひっかけたり
自由に装飾できる



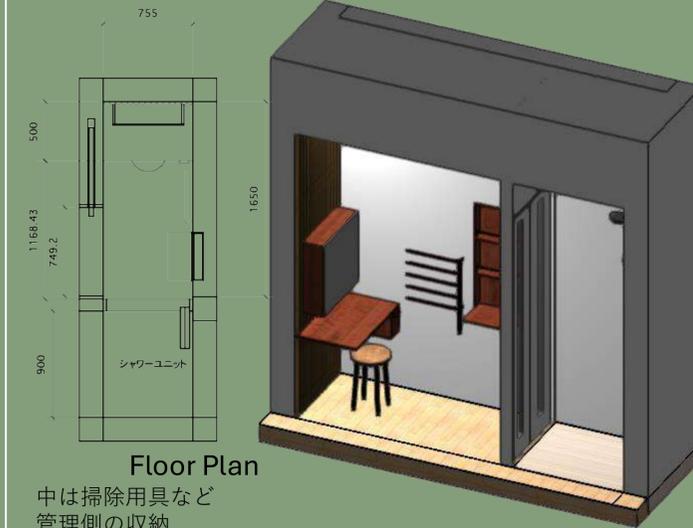
包装スペース

引き出すと包装スペースが
出てきて下の収納から袋を
取りだしそのまま包装できる

可動棚（引き出しタイプ）
袋に合わせた場所に
棚板を調整できる

可動棚
側板に可動棚を
自由につけられる
全て取り外すことも可能

Changing Room



Floor Plan

中は掃除用具など
管理側の収納



衣類を置くスペース



小物収納
ドライヤーや
アメニティー



タオルウォーマー

タオル収納